

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和 3年 6月 25日 (金)

【照会先】

鳥羽市企画財政課 移住・定住係

担当：山本 将太

Tel 0599-25-1227

タイトル 鳥羽市地域おこし協力隊の退任について

(サブタイトル) 石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当 上田茉莉子さん退任挨拶

- 概要： 石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当として、平成30年7月12日に委嘱
令和3年6月30日をもって任期満了による解嘱
今後の抱負も含めまして、退任のあいさつを行います。
※詳細は別添のとおり
- 日時： 6月30日(水) 午後3時～
- 場所： 鳥羽市役所 2階市長室

退任する地域おこし協力隊

上田 茉莉子（うへだ まりこ）／東京都杉並区生まれ・千葉県船橋市育ち

昭和 58 年生まれ（37 歳）

早稲田大学文学部（在学中、同志社大学・ウラジオストク極東連邦大学交換留学）卒業後、(株)朝日広告社(東京都中央区)にて、営業・新聞・法務部で勤務

活動内容：

石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当として、石鏡町を拠点に地域資源の掘り起こしや地域課題の整理を行い、石鏡暮らしの魅力を発掘及び情報発信を行う。また、地域資源をいかした活性化の釣り組を行う。

平成 30 年 7 月 12 日に委嘱

令和 3 年 6 月 30 日をもって任期満了による解嘱

【概要】

地域おこし協力隊として赴任

理由はシンプルで、とにかく海女になりたかったから！

応募時の地域おこし協力隊は、海女後継者としてではなく「海女のまち暮らし」の PR を担当する業務となっていましたが、募集要項に書いてあった「生活の一部として“海女漁”も可能になる場合もある」という文言に一縷の望みを掛けて、地域おこし協力隊に応募、平成 30 年 7 月に赴任しました。

石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当としての活動

石鏡町内会と連携し、地域の運営や行事に携わるほか、海女、海藻等の文化的価値やまちの暮らしの魅力を発掘するなかで、地元の海女料理に詳しい方を講師とした料理教室の開催や朝市の開催に携わりました。また、石鏡の古い写真を集積し、アーカイブ化を行うことで生活文化資産の共有の取り組みにも参加しました。鳥羽高校の「鳥羽学」に講師として参加し、知り合いのマスコミ・ICT 関連企業を紹介し、石鏡の海女さん協力のもと、生徒による海女の VR 動画の制作や海の博物館での展示のサポートを行いました。

地域おこし協力隊を卒業

令和 3 年 6 月 30 日付で、地域おこし協力隊としては任期満了となりますが、引き続き石鏡町において海女を軸とした生活を行う予定です。

また、鳥羽高校の「鳥羽学」の非常勤講師を継続して参加させていただき、鳥羽市の魅力や課題、活性化について、鳥羽高校の生徒と考えていきます。